



来賓祝辞

林 芳正 文部科学大臣
(代読：関 靖直 文部科学省研究振興局長)

電子情報通信学会創立100周年記念式典に際し、お祝いの言葉を申し上げます。

電子情報通信学会は、大正6年の創立以来、1世紀にわたる変遷の中で、電子情報通信の革新的技術を創出するとともに、コミュニケーションを通じた豊かな社会の実現に貢献されてきました。これまでの関係各位の御尽力に対し、心から敬意を表します。

近年、情報科学技術が世界的に急速に進展し、とりわけ、人工知能やビッグデータ等への関心が高まる中で、我が国が世界に先駆けて新しい価値を創出し、「Society 5.0」を実現していくためには、電子情報通信技術を核として様々な分野で活用し、イノベーション創出につなげていくことが必要です。

文部科学省では、電子情報通信技術を含む情報科学技術分野の研究開発を推進するとともに、新たな知を創出・蓄積し、社会経済の発展の源泉となる基礎科学力の強化、未来の産業構造に対応した人材の育成などに取り

組んでまいりました。

今後これを更に進めるためには、幅広い関係者の連携が不可欠です。特に、電子情報通信学会は、学術の発展、産業の興隆、人材の育成を促進し、健全なコミュニケーション社会の形成と豊かな地球環境の維持向上への貢献を目指しており、「Society 5.0」の実現を掲げる我が国の方向性と軌を一にするものとして、大きな期待を寄せております。

文部科学省と致しましては、引き続き、未来社会の実現に向けた科学技術イノベーションの創出のために取組を進めてまいりますので、皆様におかれましても、一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、電子情報通信学会が本分野で世界をリードする学会として、学術や文化の発展にますます貢献されることを祈念致しまして、私の祝辞と致します。

